

## 平成28年度「とちぎっ子学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立豊郷北小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成28年度「とちぎっ子学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

### 【調査の概要】

#### 1 目的

本県児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にするとともに、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築・運用に取り組むことにより、本県児童生徒の学力向上に資する。

#### 2 調査期日

平成28年4月19日(火)

#### 3 調査対象

小学校 第4学年、第5学年（国語、算数、理科、質問紙）

中学校 第2学年（国語、社会、数学、理科、英語、質問紙）

#### 4 本校の実施状況

第4学年	国語	32人	算数	32人	理科	32人
------	----	-----	----	-----	----	-----

第5学年	国語	38人	算数	38人	理科	38人
------	----	-----	----	-----	----	-----

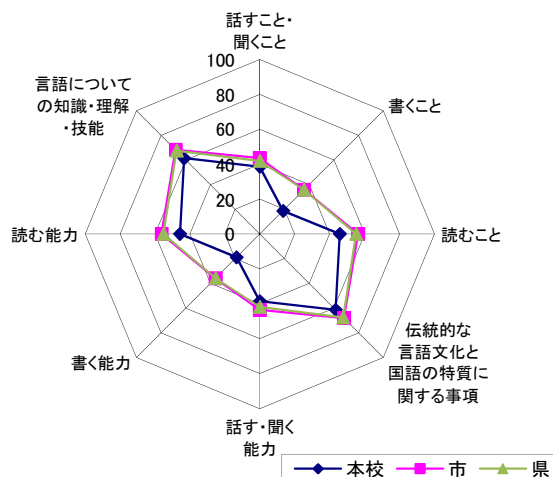
#### 5 留意事項

- (1) 本調査は、対象となる学年、実施教科が限られていることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

# 宇都宮市立豊郷北小学校 第4学年【国語】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	38.5	43.5	41.8
	書くこと	18.8	35.9	35.8
	読むこと	45.8	56.3	55.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	61.4	68.2	67.5
観点	話す・聞く能力	38.5	43.5	41.8
	書く能力	18.8	35.9	35.8
	読む能力	45.8	56.3	55.2
	言語についての知識・理解・技能	61.4	68.2	67.5



## ★指導の工夫と改善

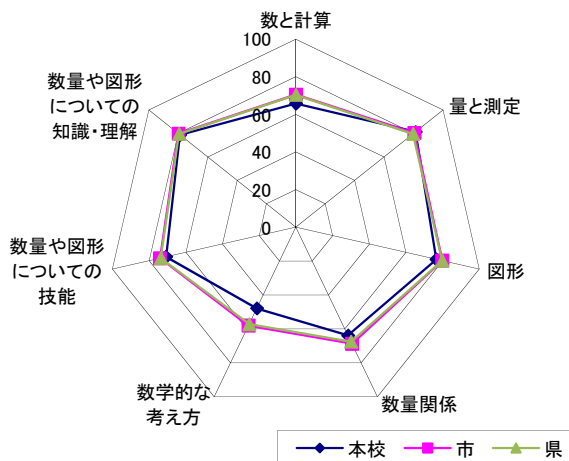
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>県や市と比べると平均正答率は、低い。</p> <p>○話すこと・聞くことについては、県や市の平均とほぼ同等である。</p> <p>●県の正答率と比べると、話の中心に気を付けて聞くことには課題が見られる。</p>	<p>・集中して話を聞くことを身に付けられるようにするため、話す聞く活動を意図的に設定するなど、話の聞き方の指導を様々な場面で継続的に行っていく。</p>
書くこと	<p>県や市と比べると平均正答率は低い。</p> <p>○設問別の正答率の中では、会話文の「」の使い方が県の正答率を上回っている。</p> <p>●招待状など文章構成を理解することに課題が見られた。また、手紙文を適切な順序と言葉遣いに書き直すことがよくできていない。</p>	<p>・何のために書くのか目的意識を持たせた活動の場を設定し、必要な事柄を抜かさずに順序立てて書くことや手紙の書き方など基本的な知識を押さえて指導していく。</p>
読むこと	<p>県や市と比べると平均正答率は低い。</p> <p>●叙述を基に、登場人物の気持ちを想像して読んだり場面の移り変わりを読んだりすることに課題が見られる。</p>	<p>・前後の文脈に着目させ、段落と段落の関係に気を付けて読む指導を行っていくとともに読書活動を推進し、いろいろな分野の本を読むように働きかけていく。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>県や市の平均正答率を下回っている。</p> <p>●第3学年配当漢字を読んだり書いたりすることに課題が見られる。</p> <p>●主語と述語についての理解や漢字のへんやつくりなどの構成の理解に課題が見られる。</p>	<p>・今後も文や文章を書くときは、既習の漢字を正しく用いるよう指導を行っていく。また、文法や漢字の部首などについて確認したり復習したりする場を設定し、定着を図っていく。</p>

# 宇都宮市立豊郷北小学校 第4学年【算数】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	65.8	70.5	70.3
	量と測定	81.3	80.4	79.6
	図形	76.6	79.8	79.7
	数量関係	63.8	68.7	67.5
観点	数学的な考え方	47.8	58.0	57.2
	数量や図形についての技能	70.8	74.1	73.7
	数量や図形についての知識・理解	78.8	79.9	79.5



## ★指導の工夫と改善

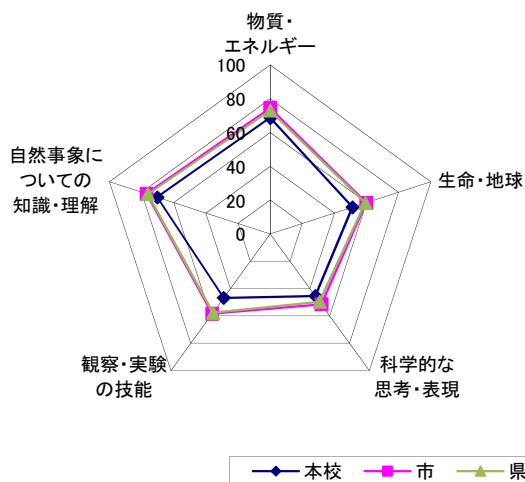
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は県や市よりやや下回っている。</p> <p>○繰り上がりや繰り下がりのある足し算引き算の計算について理解している。</p> <p>●3ケタ×2ケタの計算やわり算、小数、分数の計算に課題があった。また、問題に示された間違いを正し、そのわけを説明する問題や、口を使った式については、県や市よりもかなり正答率が低かった。</p>	<p>・基本的な計算が定着するよう、今後も教科書やドリルを活用していく。また、授業で扱う単元以外の計算問題なども朝の学習や家庭学習で継続的に練習していく。</p> <p>・授業の中で自分の考えを図や数直線、式を使ってノートに表したり、友達同士で説明し合い、互いの考えを書き加えたりする活動を積極的に取り入れていく。</p>
量と測定	<p>平均正答率は県や市を上回っており、他の領域と比べて高い。</p> <p>○長さや重さの単位と目盛りの読み方、時間の分と秒の単位の関係について理解していて、県や市よりも正答率が上回っていた。</p> <p>●時間を求める問題では、やや県や市の正答率より低かった。長い文章題になると、問題の意味を理解し、必要な数値を求めることに難しさを感じていると考えられる。</p>	<p>・長さや重さの単位については、日常生活でも意識して指導していく。</p> <p>・文章題自体に苦手意識をもたないよう、文章を読み解くような問題に取り組むとともに、何を答えればいいのか、どの数値をどう使うのかなど、問題を解きながら指導を繰り返していく。</p>
図形	<p>平均正答率は県や市よりやや下回っている。</p> <p>○正三角形の定義や二等辺三角形のかき方もよく理解している。コンパスを丁寧に扱い、図形を正確にかけるよう指導してきた成果であると考えられる。</p> <p>●円と球では、半径と直径の関係について理解することに課題が見られる。</p>	<p>・今後もコンパスや定規の扱い方を丁寧に指導し、三角形・四角形の性質についても考えながら誤差の少ない作図ができるよう指導を徹底していく。</p> <p>・具体物を操作させる活動を意図的に取り入れて、円や球・三角形等の図形の見方・考え方を伸ばす指導を行っていく。</p>
数量関係	<p>平均正答率は県や市よりやや下回っている。</p> <p>○棒グラフでは、1目盛りが表している数量を読み取り、それぞれの棒グラフの数量を読み取ることがよくできている。</p> <p>●わり算やひき算の文章問題から、数量関係を理解し、問題の場面に合った線分図を選んだり、場面に合ったテープ図に当てはまる数を考えることに課題が見られる。</p>	<p>・文章を読み取り立式する際には、言葉や具体物、数直線や図などと関連させ、多面的に理解できるようにしていく。また、他教科と関連を図りながら、グラフや資料を分類し整理する力を伸ばす指導を今後も行っていく。</p>

# 宇都宮市立豊郷北小学校 第4学年【理科】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	68.7	74.5	72.9
	生命・地球	51.2	59.8	59.2
観点	科学的な思考・表現	45.5	51.6	49.7
	観察・実験の技能	46.9	58.4	57.7
	自然事象についての知識・理解	70.3	77.0	76.2



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	<p>平均正答率は県の正答率をやや下回っている。</p> <p>○「風やゴムの働き」の問題の正答率は、県や市とほぼ同様で、特に、風の強さと物の動く様子との関係を考察する問題で正答率が9割を超えるなど、よく理解できていた。</p> <p>●「電気の通り道」では、特に、豆電球のつき方から箱の中の回路の様子を推測する問題で正答率が低く、科学的に思考したり表現したりする能力で課題が見られた。</p>	<p>・授業の中で、本時の課題に対する予想を立てるだけでなく、予想したことを調べるためにどのような実験をすればよいかを考える活動を取り入れるようにする。</p> <p>・観察や実験の結果について考察していく過程で、自分自身の考えをもって友達と話し合ったり、ノートに考えをまとめていったりする活動を重視する。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は県の正答率を下回っている。</p> <p>○昆虫や植物など身近な自然の観察に関する問題は、県や市の平均を上回っており、特に、昆虫が卵を産む場所と食べ物とを関係付けて考察する問題では、正答率が高かった。</p> <p>●「太陽と地面のようす」では、平均正答率が県や市の平均を下回っている。特に、方位磁針の適切な操作方法や、温度計の目盛りの正しい読み取り方を答える問題で正答率が低かった。</p>	<p>・「観察・実験の技能」を高めるために、授業の中で一人ひとりが観察・実験器具を操作する時間をとり、正しい技能が身に付けられるようにする。また、観察・実験の際に正しい結果が出るためのポイントを伝えて、法則やきまりを見つけることができるようにする。</p> <p>・教具の使い方や取り扱い方について、もう一度復習するとともに、新たな教具についても正しく使えるように指導を徹底していく。</p>

## 宇都宮市立豊郷北小学校 第4学年児童質問紙調査

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「自分にはよいところがあると思う」「先生は学習のことについてほめてくれる」「家の人はあなたがほめてもらいたいことをほめてくれる」という設問について肯定的回答をした児童は、県や市と比べて割合が高く、学校全体で児童を認め、励ます教育を推進していることが自己肯定感につながっていると考えられる。今後も、学校と家庭が連携して、児童の努力や成長を見守り、指導していきたい。

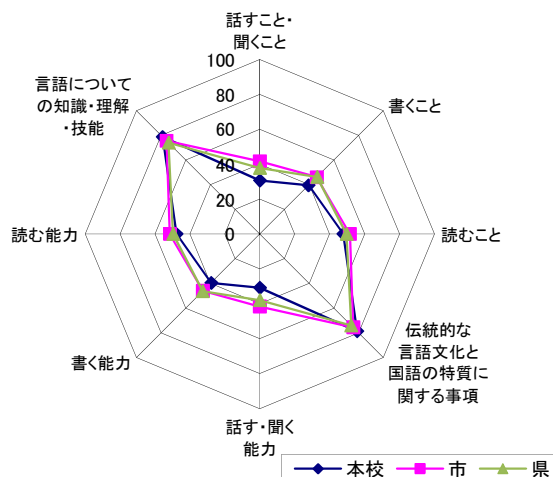
○「クラスの友達との間で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ」の質問に対して肯定的に回答をした児童の割合が高い。これは、授業の中で話し合う活動を多く取り入れている成果と思われる。今後も発言しやすい雰囲気づくりを大切に、より豊かな学び合いになるよう指導していきたい。

●「授業の最後に、学習したことを振り返る活動をよく行っている。」の質問には肯定的に回答した児童が少なく、「授業で自分の考えを文章にまとめて書くことはむずかしい」と感じている児童が多く見られる。そこで、振り返りの活動を継続して行ってい、授業の中で文章にまとめ記録を残しておく活動を重点的に行うようにする。より効果的なまとめができるよう、まとめを書く際に、例文を示したり、キーワードを与えたりすることで、徐々に自分でまとめることができるように支援していきたい。考えを整理しまとめる力を育てる学習指導について、これからも児童の実態に合わせ工夫しながら指導していきたい。

# 宇都宮市立豊郷北小学校 第5学年【国語】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	30.7	41.6	37.9
	書くこと	39.5	46.1	46.3
	読むこと	47.8	51.6	49.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	78.7	75.6	74.0
観点	話す・聞く能力	30.7	41.6	37.9
	書く能力	39.5	46.1	46.3
	読む能力	47.8	51.6	49.7
	言語についての知識・理解・技能	78.7	75.6	74.0



## ★指導の工夫と改善

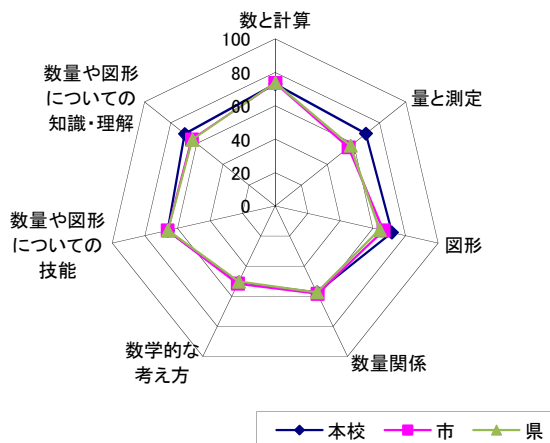
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>県の平均正答率を下回った。</p> <p>●話し合いにおいて、提案者の役割を理解し、どんなことを話しているのかをつかむことができたのは半数程度である。話し合いの進行の流れをつかみ、司会者の発言を考えることができたのは、4割弱であった。</p>	<p>・学習した内容を他教科等とも関連させていく。また、学級活動において、司会者や提案者の立場を明確にした話し合いを行う。その中で、話し合いの流れや意見の根拠などを考える時間を設ける。</p>
書くこと	<p>県の平均正答率を下回った。</p> <p>●新聞の内容を読み取り、見出しや提示する資料を考えて記述することに課題が残る。</p>	<p>・スピーチや作文など文章を書く機会を積極的に設定する。接続語の使い方や表現技法などにも気を付けて書けるようにする。</p> <p>・新聞記事などの文章を読み、見出しや題名を付けるような練習を朝の学習などで取り入れる。</p>
読むこと	<p>県の平均正答率を1.9%下回った。</p> <p>○物語文において叙述を基に、登場人物の気持ちを想像して読む問題の正答率は、県の平均を上回っている。</p> <p>●要約など文章全体の内容を理解していないと答えられない問題の正答率が低い。</p>	<p>・物語をじっくりと読む時間を確保することで、登場人物の心情の変化や情景の変化を読み取る力を高める。</p> <p>・宿題などで説明文の問題を解く時間を設け、文章の大意をつかみ、段落の関係を理解したり要約したりできるようにする。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>県の平均正答率を上回った。</p> <p>○主語と述語の関係やことわざはよく理解できている。</p> <p>●漢字辞典の使い方の問題の正答率が低い。</p>	<p>・授業や宿題において漢字や語句指導を継続的にしていく。また、漢字や熟語の意味を正しく知るために漢字辞典を使う機会を多く設けて、文字に関する関心を高めていく。</p>

# 宇都宮市立豊郷北小学校 第5学年【算数】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	73.0	73.6	73.7
	量と測定	69.5	56.2	57.7
	図形	71.7	66.5	64.2
	数量関係	57.4	58.4	57.5
観点	数学的な考え方	51.1	51.7	50.3
	数量や図形についての技能	66.0	66.1	65.9
	数量や図形についての知識・理解	69.3	64.0	63.5



## ★指導の工夫と改善

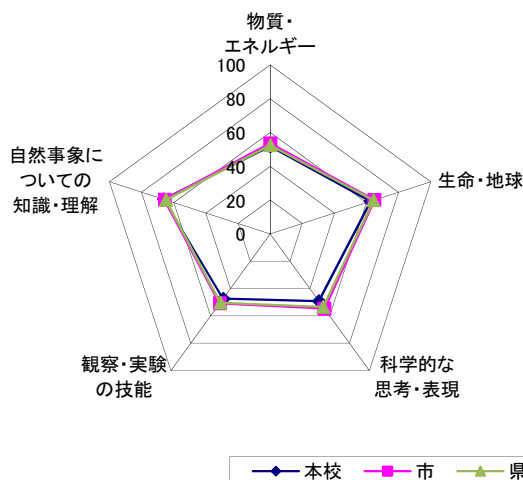
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>県の平均正答率を下回った。</p> <p>○分数の計算についてよく理解ができている。帯分数－真分数の計算(同分母分数・繰り下がり)の問題は9割弱の正答率だった。</p> <p>●小数の計算の正答率が低い。引き算、わり算の計算が苦手である。</p>	<p>・計算ドリルやプリントなどを活用して計算練習の場を日常に設け、計算能力をさらに向上させるように工夫していく。特に小数の復習問題を重点的に取り入れる。</p>
量と測定	<p>県の平均正答率を約上回った。</p> <p>○四則混合で()のある式について、正しい計算の順序で答えを求める力が十分身に付いている。</p> <p>●0.01の250個集めた数を求める問題や、数直線の見盛りを分数で表す問題など、1の位より小さい位の数を考える力が不十分である。</p>	<p>・家庭科などの他教科において、具体的活動による測定の場面を設け、正しい量感をもつことや正確に測定する力を定着させていく。</p>
図形	<p>県の平均正答率を上回った。</p> <p>○四角形の対角線や、立体の面と辺の関係についてよく理解している。</p>	<p>・コンパスや分度器を使って作図の練習をする機会を多く取り入れる。</p> <p>・方眼紙を用いて立体を作成するなど具体物を使って視覚的に理解できるようにする。</p>
数量関係	<p>県の平均正答率とほぼ同等である。</p> <p>●棒グラフと折れ線グラフを比べて、目盛りの取り方の違いに気づき、その違いについて説明する力が十分ではなく、3割程が無回答だった。</p>	<p>・社会や理科などの他教科において、積極的に表やグラフを扱うことで興味を深めるとともに、表やグラフを正しく読み取り説明する場面を増やすことで定着を図る。</p>

# 宇都宮市立豊郷北小学校 第5学年【理科】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	51.9	53.7	52.5
	生命・地球	62.5	64.9	64.3
観点	科学的な思考・表現	49.1	54.7	53.4
	観察・実験の技能	47.4	50.8	50.3
	自然事象についての知識・理解	66.2	65.7	64.9



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、県の正答率とほぼ同等であった。</p> <p>○金属が冷やされたときの体積の変化や電気の働きについては、県や市の平均を上回っており、よく理解できている。</p> <p>○「電気の働き」の問題では正答率が高く、特に、電池の数やつなぎ方とモーターの回り方との関係を問う問題で、県の平均正答率を10ポイント以上上回っていた。</p> <p>●「空気と水の性質」の問題の中で、空気を温めたことによって、どのような変化が起こるのか、またその理由を自分の言葉で表現する問題で正答率が低かった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空気や水の性質の変化について、自身の生活経験の中から想起させたり、実際に観察したりする機会を増やすことで理解を深めていく。</li> <li>・器具を操作して実験や観察を行うとともに、予想、実験・観察、結果のまとめ、といった流れを繰り返すことで、学習の流れを定着していけるようにする。</li> <li>・実験や観察した結果を考察する際に、自分自身の言葉でノートにまとめたり、友達と話し合いをしたりする活動を重視し、思考力や表現力を高めていけるようにする。</li> </ul>
生命・地球	<p>平均正答率は、県の平均をやや下回っていた。</p> <p>○「天気の様子」の問題では、平均正答率が、県や市の平均を上回っており、特に、温度計を使った気温の正しい測り方や、天気と一日の気温の変化の関係についてよく理解ができていた。</p> <p>●「季節と生物」、「月と星」については、平均正答率が県や市の平均を下回っている。特に、方位磁針の操作や月の軌道、星や星座の位置関係などの理解が不十分である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に方位磁針を操作して方位を確かめたり、情報メディア機器を活用して月や星の動きを視覚的にとらえさせたりするなど、実験や観察などの実体験を重視した学習を展開するようにする。</li> <li>・月や星の動きなどを観察し、その記録の仕方などを丁寧に指導し、それを繰り返していくことで、表現力を高めていくとともに、生命・科学に関する苦手意識を克服していきたい。</li> </ul>

## 宇都宮市立豊郷北小学校 第5学年児童質問紙調査

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「家の人と学習について話をしている。」という問いに対しては、県の肯定率を約12%上回っている。家庭と連携して学習の定着を図っていききたい。

●「学校の宿題は、自分のためになっている。」「学習して身に付けたことは、将来の仕事や生活の中で役に立つと思う。」の肯定率は県の平均を上回っているが、「学校の宿題は、やりたくなる内容だ。」「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。」の肯定率は、県の平均を下回っている。特に宿題に関しては苦手意識を強く感じているようである。意欲的に取り組むことができるような課題設定をしていく必要がある。

○「自分は勉強がよくできる方だと思う。」「自分にはよいところがあると思う。」「自分の行動や発言に自信をもっている。」の問いに対しては、県の肯定率を約5%程度上回っている。自己肯定感の高さを学習意欲へとつなげていきたい。

●「むずかしい問題にであうと、やる気が出る。」「先生は学習のことについてほめてくれる。」の問いに対しては、県の肯定率を下回っている。難しそう、分からなそうな問題であっても、根気強く最後まで取り組むことが大切なことを伝えるとともに、できたときには褒めて認めていくことで自信につなげていきたい。

○「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができている。」「クラスの友達との間で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。」という問いに対しては、どちらも県の肯定率を約3%程度上回っている。聞く姿勢の指導を継続的に行うとともに、聞いたことを生かして積極的に発言していけるようにしたい。

●「家で、学校の授業の予習をしている、テストで間違えた問題について勉強している、勉強するときに大体同じ時刻に取り組むようにしている」という問いに対しては、どれも県の肯定率を下回っている。テストの復習を自主学習の課題として取り組み、苦手を克服するための実践力につなげていきたい。

○「授業で扱うノートには、学習の目標とまとめを書いている。」という問いに対しては、県の肯定率を約10%上回っている。今後もノートや学習カードなどを活用して学習の振り返りを書く時間を設定し、学習内容の理解を図りたい。

○「算数の授業で問題を解くときには、言葉や数、式だけでなく、図、表、グラフなどを使って考えるようにしている。」の問いに対しては、県の肯定率を約12%上回っている。今後も多様な考え方をを使って問題や課題を解くことができるように指導していききたい。

●各教科において「好きか、将来のために大切だと思うか」の問いに対しては県の肯定率を下回っている。児童が主体的・意欲的に取り組めるよう、課題設定の仕方や学習の進め方などについて確認していききたい。